

取扱説明書

バーグラフ指示計

形式  
48V

ご使用いただく前に

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

■梱包内容を確認して下さい

・指示計 .....1 台

■形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペック表示で形式と仕様を確認して下さい。

■取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線および簡単な保守方法について記載したものです。

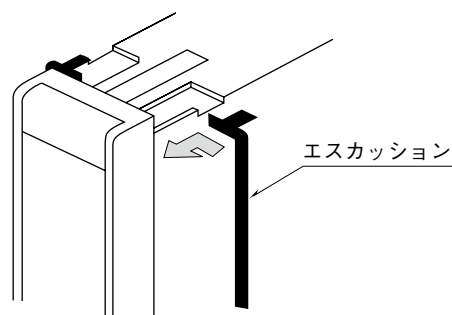
ご注意事項

●供給電源

- ・許容電圧範囲、電源周波数、消費電力  
 スペックラベルで定格電圧をご確認下さい。  
 交流電源: 定格電圧 85 ~ 132 V AC の場合  
 85 ~ 132 V AC、47 ~ 63 Hz  
 定格電圧 170 ~ 264 V AC の場合  
 170 ~ 264 V AC、47 ~ 63 Hz  
 約 3.5 VA (48V - 1)、約 5.5 VA (48V - 2)  
 直流電源: 定格電圧 24 V DC の場合 24 V DC ± 15 %、  
 約 2 W (48V - 1)、約 4 W (48V - 2)

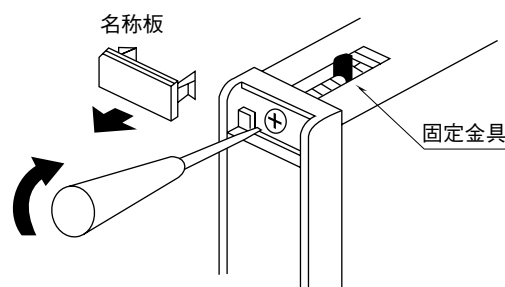
●取扱いについて

- ・エスカッションはケース内ポケットに一对入っています。取付方法は、エスカッション上下を図示のように内側からはめ込んで下さい。



・本体の取付方法

本体前面より上下の名称板を外し、ねじをドライバーで右に廻すと固定金具が出ます。そのまま固定されるまで廻して下さい。また、左に廻すと固定金具が外れ、取外せます。



- ・本体取付に対して放熱のため、縦取付時は本体より上下にそれぞれ 5 cm 以上の空間をあけて下さい。横取付時は左右にそれぞれ 2.5 cm 以上の空間をあけて下さい。
- ・アクリル板および目盛板は名称板を外しますと取外せます。

●設置について

- ・屋内でご使用下さい。
- ・塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょう体に収納し、放熱対策を施して下さい。
- ・振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。
- ・周囲温度が 0 ~ 50°C を超えるような場所、周囲湿度が 40 ~ 80 % RH を超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。

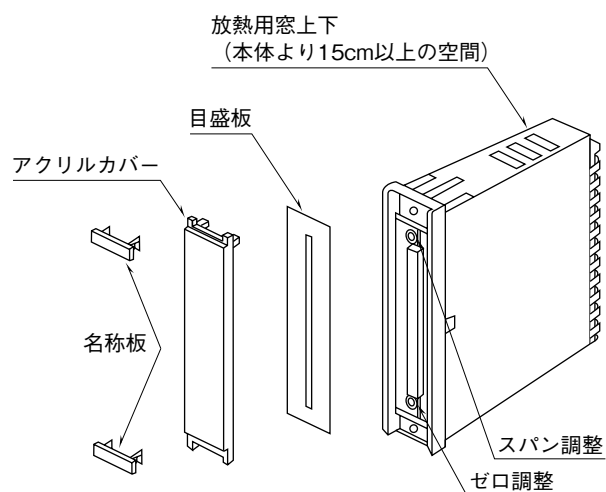
●配線について

- ・配線（電源線、入力信号線、出力信号線）は、ノイズ発生源（リレー駆動線、高周波ラインなど）の近くに設置しないで下さい。
- ・ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。

●その他

- ・本器は電源投入と同時に動作しますが、すべての性能を満足するには 10 分の通電が必要です。

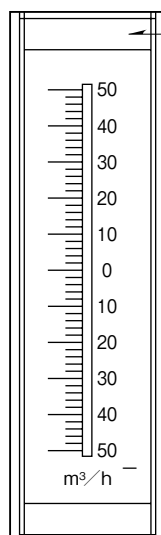
## 各部の名称



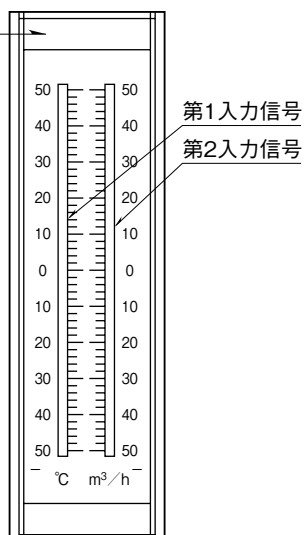
## ■前面図

## ■縦取付の場合

## ●1点用

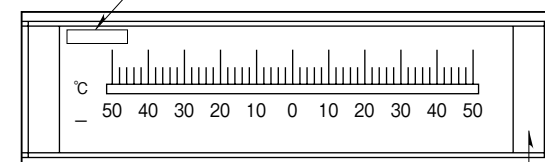


## ●2点用

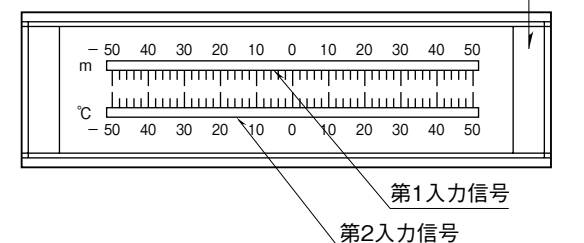


## ■横取付の場合

## ●1点用



## ●2点用



※1、4文字以上の単位記号は上図の位置に表示します。

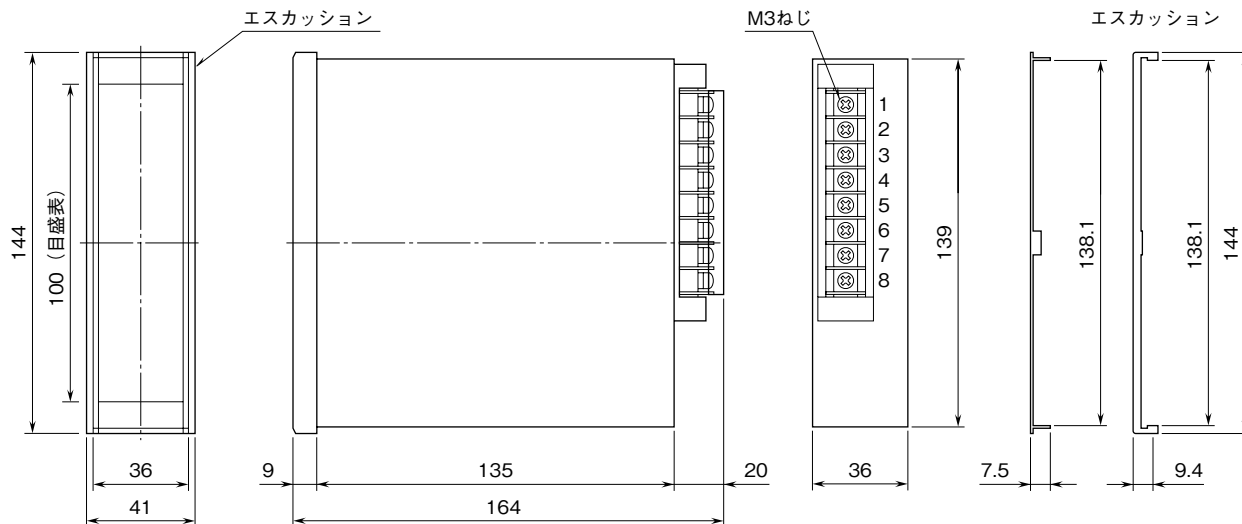
注、2点用で単位記号が1つしかない場合は、1点用と単位記号の表示位置および最大文字数が同じになります。

## 取付方法

### ■パネル取付

下記の外形寸法図・取付寸法図を参考に行ってください。

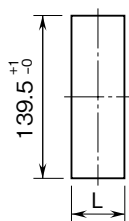
外形寸法図 (単位: mm)



取付寸法図 (単位: mm)

### ■パネルカット寸法

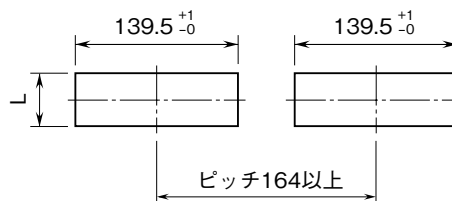
#### ●縦取付の場合



取付板厚: 1.6 ~ 5.5  
 $L = (38 \times N)^{+1}_0$   
 (N は連結数)

- 注1、但し  $N \geq 2$  の場合、本体間にはエスカッションが1個必要となります。  
 注2、本体取付に対し、放熱のため本体より上下にそれぞれ5cm以上の空間をあけて下さい。

#### ●横取付の場合



取付板厚: 1.6 ~ 5.5  
 $L = 38 \times (N - 1) + 36.5^{+1}_0$   
 (N は連結数)

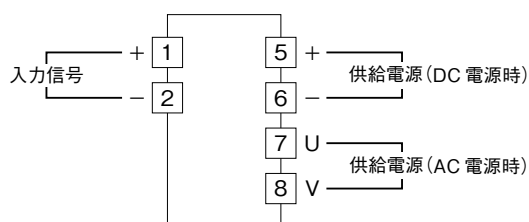
- 注1、但し  $N \geq 2$  の場合、本体間にはエスカッションが1個必要となります。

## 接続

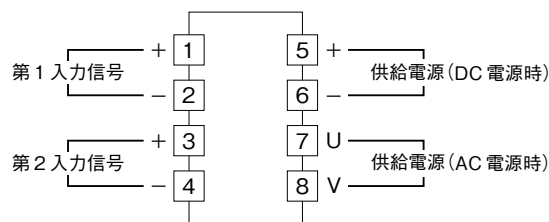
各端子の接続は下図を参考にして行って下さい。

端子接続図

### ■48V-1



### ■48V-2



---

## 調 整

本器は出荷時校正済みですので、ご注文時の仕様通りにご使用になる限りは、調整の必要はありません。ただし接続機器との整合をとる場合や定期校正時には、下記の要領で調整して下さい。

### ■調整方法

校正の場合は本器の基準精度に対し、十分精度を有する信号源および測定器を使用し、電源投入後 10 分以上経過してから行って下さい。

- ①模擬入力信号を 0 % 相当値に設定し、ゼロ調整で出力を 0 % に合わせます。
- ②模擬入力信号を 100 % 相当値に設定し、スパン調整で出力を 100 % に合わせます。
- ③再び、模擬入力信号を 0 % 相当値に設定し、出力表示がゼロを示していることを確認して下さい。
- ④ゼロ出力がずれているときは、①～③の操作を繰り返して下さい。

---

## 保 守

定期校正時は下記の要領で行って下さい。

### ■校 正

10 分以上通電した後、入力信号を 0、25、50、75、100 % 順で本器に与えます。このとき出力信号がそれぞれ 0、25、50、75、100 % であり、規定の精度定格範囲内であることを確認して下さい。出力信号が精度定格範囲から外れている場合は、調整の項目で指示した内容に従って調整して下さい。

---

## 保 証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後 3 年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。